

中山間だより Vol.22



写真：横間虫追まつり(八幡平市 横間集落)

1 平成29年度「いわて中山間賞」受賞集落等のご紹介

平成29年12月21日、盛岡市内で開催された「平成29年度いわて農林水産躍進大会」において、今年度の「いわて中山間賞」が、達増拓也岩手県知事から、3集落等に授与されました。受賞集落等は、地域ぐるみで農地保全や環境整備、地域資源の活用による交流拡大などに取り組み、地域の活性化が図られています。(2～4ページで紹介)

「いわて中山間賞」受賞者



左から、成岡田農地・水保全管理活動組織2名、横間集落2名、上通集落1名

「いわて中山間賞」受賞集落等

- 横間集落 (八幡平市)
- 成岡田農地・水保全管理活動組織 (奥州市)
- 上通集落 (一関市)

「一日市場」の様子



また、会場前では、中山間地域等直接支払交付金を活用し、特産物などの加工販売に取り組む組合により「一日市場」が開催されました。

多くの方々が足を止め、組合から話を聞いたり、試食を行い商品を求めたりして賑わいました。

「一日市場」出店組合と販売商品のご紹介

- ◇ 鳴瀬振興組合 (奥州市)・・・かぼちゃケーキ、りんごケーキなど
- ◇ 岩の上地域営農活性化組合 (奥州市)・・・漬物
- ◇ (農)宮守川上流生産組合 (遠野市)・・・りんごジュース、どぶろくなど



○ 集落の概要

- ・ 東北自動車道安代ICから西へ約2 km、JR花輪線横間駅周辺に位置しています。
- ・ 集落の世帯数は19戸、構成人数は55人（うち農業者27人）です。

○ 農用地の状況

- ・ 地域の農用地面積は28ha（うち田22ha、畑6 ha）です。
- ・ 水稻及びりんどうを基幹として農業生産活動を行っているほか、そばや大豆など様々な作物を栽培し、耕作放棄地ゼロを達成しています。

取組のポイント

- ・ 山あいの不利な立地条件において一早くりんどうを導入し、地域一丸となって生産技術の向上を推進しています。
- ・ 広大な水芭蕉の群生地において、横間自治公民館が中心となり、案内板の設置や遊歩道の整備、下草刈りなどの活動を行っています。
- ・ 毎年7月に「横間虫追まつり」を実施し、中国人留学生等の学生ボランティアを受け入れるなど、その継承に力を入れています。
- ・ 女性グループが中心となり、公民館に併設された調理場を活用して、味噌付けきりたんぽ、特製焼き肉のたれなどの郷土料理・特産物づくりを行い、他地域との交流を深めるツールにしています。



りんどう畑での作業



水芭蕉群生地の管理作業



味噌付けきりたんぽ作り



フラワーロードの整備

成岡田農地・水保全管理活動組織(奥州市)

○ 組織の概要

- ・ 奥州市南東部の前沢区にあり、北上川と東稲山の間に位置する生母地域の組織です。
- ・ 中山間地域等直接支払制度に取り組んでおり、協定構成員は44人（うち農業者43人）です。

○ 農用地の状況

- ・ 農用地面積は32.8haであり、美しい棚田の景観が広がっています。
- ・ 水稻及び牧草を基幹として生産を行っています。

取組のポイント

- ・ 次世代への積極的な働きかけを行い世代交代を進めるとともに、地域外に住む農地所有者にも積極的な呼びかけを行い、美しい棚田等の景観を守りながら営農活動を継続しています。
- ・ 和牛繁殖農家8戸が構成員に加わり、水稻農家との稲わら・堆肥交換による地域内の耕畜連携を進め、持続的な農業が定着しています。
- ・ 伝統芸能である「成岡田神楽」の保存・継承活動を通じて、集落住民全員での農村コミュニティの維持・強化が図られています。
- ・ 景観保全の目的で花壇づくりを継続するほか、都市部から農山村体験型教育旅行の受入れを行い、地域内外との交流を深めています。



協定農用地の大部分を占める棚田



成岡田神楽



農山村体験型教育旅行の受入れ



景観形成のための花木の植栽等

上通集落（一関市）

○ 集落の概要

- ・ 一関市花泉町日形の西部で北上高地の南端に位置し、周囲は小高い山に囲まれています。
- ・ 中山間地域等直接支払制度に取り組んでおり、協定構成員は29人（うち農業者24人）です。

○ 農用地の状況

- ・ 農用地面積は32.8haであり、水稻を基幹に生産を行っています。
- ・ また、ヒマワリや蓮も植栽し、良好な景観形成が行われています。

取組のポイント

- ・ ほ場整備により担い手への農地集積を行い、農業生産の効率化を進めながら、担い手以外の農業者も積極的に畦畔の草刈りや水管理に取り組むなど、地域ぐるみで農地維持・管理活動を実施しています。
- ・ 田にヒマワリなどの景観作物を植栽しているほか、水稻の作付けが不適な水田で蓮を栽培するなど、美しい景観形成に力を入れています。
- ・ 集落全体での交流会や、地区で行われる祭りでの「八木節」の披露等を通じて、地域の一体感の醸成や活性化を図っています。
- ・ 東京都の中学生を農作業体験で受け入れたり、都内の秋祭りで農産物を提供・販売したりするなど、積極的に交流活動を行っています。



共同活動の様子



水稻の作付けが不適な水田に植栽した蓮



集落内の交流の様子



田への景観作物の作付け

2 平成31年度まで取組を継続するために

中山間地域等直接支払制度は、第3期対策から、高齢化の進行等を配慮して、より取り組みやすい制度に見直され、実施されています。

平成31年度まで取組を継続するために、これまでの協定活動を振り返り、活動項目の再点検を行いましょう。

協定書の内容を再確認しましょう

- 集落マスタープランについて
 - ・ 集落の将来像を実現するための活動計画となっていますか？
 - ・ 体制整備単価要件を選択している協定は、その達成目標と活動計画の整合性がとれていますか？
- 農業生産活動について
 - ・ 耕作放棄の防止等の活動や、水路・農道等の管理活動など、**必須とされている活動**は十分に実施されていますか？
 - ・ 体制整備単価要件を選択している協定は、
A要件、B要件の場合) 各種要件の達成が見込まれますか？
C要件の場合) 万々に備えたサポート体制が整っていますか？

農業生産活動の記録をつけましょう

- 構成員の皆さんで共同取組活動を行ったら、**活動日誌に記録しましょう。**
(活動日誌には日時、場所、参加者名、活動内容、支出内訳などを記入しましょう。当日の活動写真を添付すると、解りやすくなります。)
- 活動記録や協定書は、**5年間保管してください。**

経理は適切に行いましょう

- 交付金の経理は、独自の帳簿を設けるなどして、**他の経理と区分しましょう。**
- 会計責任者は、共同取組活動費の支出状況が明確になるよう、**領収書や書類等を適正に保管するようにしましょう。**
- 金銭の出納は「**金銭出納簿**」に記録しましょう。
- 経理関係書類 (領収書、金銭出納簿) は**日付順に整理し、5年間保管しましょう。**

協定内での話し合いを大切にしましょう

- 毎年、集落の話し合いの場を設けましょう。
- 活動計画は毎年話し合ったうえで決定し、その結果は協定参加者全員に知らせ、情報を共有しましょう。

3 共同取組活動費を活用する際の注意点

中山間地域等直接支払交付金のうち、共同取組活動費は、地域の実態や取組内容等に応じて、自律的かつ継続的な農業生産活動等の体制整備に資するものに対して支出することができます。

その際には、以下の点について留意してください。

①協定参加者全員の合意の下で支出すること。

一部の協定参加者だけで用途等を決めず、協定参加者の皆さんで話し合い、決定しましょう。

②協定参加者全員が参加して行う活動に対して活用すること。

耕作放棄の防止活動や水路・農道等の管理活動は、協定参加者全員で協力して行いましょう。

※実施時期にずれがある場合や、一部の人が実施してその他の人が支援するという活動にも、支出可能です。

共同取組活動費の活用例には、

- ・ 水路や農道等の維持管理、出役費
 - ・ 農業機械、施設整備の資金
 - ・ 簡易な基盤整備
 - ・ オペレーター賃金
 - ・ 集落で運営する直売所の運営経費
 - ・ オペレーターの講習会参加経費
 - ・ 特産物や景観作物導入に係る種苗費、実証圃場運営費
- などがあります。

4 中山間地域等直接支払交付金の有効活用事例

みずもち

水持集落(紫波町)

1 交付金の活用

- ・ 機械等の購入
- ・ 自然災害からの復旧
- ・ 共同取組活動



購入した機械による自己施工



共同取組活動の様子

2 集落の概要

紫波町の北西部、東根山の麓に位置し、農業者16名、営農組合1組織から構成されています。

交付金を活用し、自己施工による農業生産条件の改良や災害復旧を進めています。また、草刈りや追肥などの共同取組活動にも交付金を充てています。

水稻のほか、休耕田を整地して、梅なども栽培しています。収穫した梅は、集落協定構成員が加工し、産直で販売しています。

発行

岩手県農林水産部農業振興課

〒020-8570 盛岡市内丸10番1号

TEL : 019-629-5647 (直通) FAX : 019-629-5649